学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	社会科	実施学年	第１年	週時数	３時間

１　学習の目標等

学習の目標	【地理的分野】 （１）世界の諸地域の地誌的学習を行う。 （２）地図の読図や作図を通した技能の習得、思考力や表現力を養う。 （３）世界的視野から世界の地域的特色を理解する。 【歴史的分野】 （１）我が国の歴史の大きな流れを理解し、各時代の特色を理解する。 （２）その時代を大観して表現する活動や各時代の変革の特色から時代の転換を捉え、歴史的事象について考察、判断し、その成果を自分の言葉で表現する力を養う。
使用教科書 副教材等	・教科書：東京書籍「新しい社会　地理」「新しい社会　歴史」帝国書院「中学生社会科地図」 ・副教材：浜島書店　「アクティブ地理」　　「つながる歴史」 ・ワークブック：新学社「社会の自主学習（地理１　歴史１）」 ・A4 ノート２冊:地理、歴史でわける。 ・トラスト（単元プリント地理、歴史）⇒ファイルにとじる。

２　学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備考
第１学期	4 5 6 7	【地理分野】 （１）世界の姿 （２）世界各地の人々の生活と環境 【地理的分野】 （３）世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州	・地球上の位置関係をとらえる技能や知識を身につけ、世界の地域構成をとらえる。 ・世界各地の人々の生活や環境の多様性を理解する。 ・世界の諸地域について、それぞれの州の地域的特色を理解する。 ・経済成長をテーマとして地域ごとの特色を理解する。 ・国家間の統合による変化や課題について理解する。 ・特定の生産品に頼る生活や変化について理解する。 ・産業の発達について様々な面から考え、理解する。	単元テスト 定期テスト ワーク点検 ノート点検 授業への取り組み	
第２学期	9 10 11	・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州 【歴史的分野】 （１）歴史のとらえ方 （２）古代までの日本 ・文明のおこりと日本の成り立ち ・古代国家の歩みと	・開発と環境問題について様々な面から考え、理解する。 ・アジア州との結びつきをテーマに地域的特色を理解する。 ・これまでの世界の地理学習をもとによりよい社会の実現を視野に学習内容を振り返り、探求課題を主体的に追及し、プレゼンテーションができる。 ・年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解する。 ・人類の発展から、日本に国家が形成されていった過程のあらましと、天皇、貴族の政治が展開されたことを聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、摂関政治を通じて理解する。	休業中の課題 ワーク点検 ノート点検 授業への取り組み 単元テスト 定期テスト ワーク点検 ノート点検	

	12	東アジア世界			
第3学期	1 2 3	【歴史的分野】 （3）中世の日本 ・武士の台頭と鎌倉幕府 ・東アジア世界とのかかわりと社会の変動 （4）近世の日本 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・東アジアの密接な関わりが見られたことや、それが国内の政治に影響をおよぼしたことを理解する。 ・ヨーロッパ人の来航が日本に与えた影響を考えることができ、様々な面から全国統一事業の背景と成り立ちについて考える。 ・歴史学習を通して、そこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする姿勢で、話し合い活動ができる。	単元テスト 定期テスト ワーク点検 ノート点検 授業への取り組み	

3　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価
知識・技能	・社会的事象の意義や特色などを理解し、知識を身につける。基本的な事柄について正しく認識をしているかを単元テスト、定期テストの資料活用を問う問題で加味する。	・単元テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	・課題を見いだし、多面的、多角的に考察し、公正に判断できる。社会的事象について正しくとらえているかを授業中の発言や発表内容、単元のまとめやノートの記述内容、調べ学習の記述内容で評価する。定期試験の思考・判断を問う問題での解答内容も加味する。	・定期テスト ・単元テスト
主体的に学習に取り組む態度	・地理・歴史に関する社会的事象に対する関心を高め、追求し、社会の担い手としての自覚を持てる。 授業への取り組みを中心に、課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしているかを授業中の発言状況や作業プリントの内容、提出状況、ノート点検の結果などから評価する。	・提出物 ・単元テスト ・定期テストの時事問題 ・レポート点検 ・ノート点検 ・休業中の課題 ☆授業への取り組み

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。